

令和5年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

社会福祉法人 田原本町社会福祉協議会

令和5年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

1. 事業実施概要

令和5年度はコロナ禍を経た社会において、社会情勢が大きく変化し、人々の生活様式や価値観がより多様化したことで地域におけるつながりや互いを支え合う力のぜい弱化が危惧され、それぞれが抱える福祉的課題はより複雑化する傾向が見受けられました。このような状況の中、地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会では「地域共生社会」の実現にむけ、地域住民をはじめとした多様な地域関係者とともに各種事業を通じ、途切れることのない援助活動に努めました。

また、令和5年度は官民協働「みんなでつむぐ福祉のまち田原本」を基本理念とした第2期田原本町地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づく活動を展開する初年度となり、「重層的な地域福祉ネットワークの構築」を目標の一つに掲げ、より地域に密着した身近な立場で住民主体の活動支援に重きを置き、地域の実情に応じた官民協働の活動が活発・着実に展開されるように努めました。

事業の組み立て

- (1) 地域福祉活動の推進
- (2) 生活支援事業の推進
- (3) ふれあいセンターの管理運営
- (4) 事務局運営の充実強化
- (5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

2. 各施策・事業の実施状況 [() 前年度実績]

(1) 地域福祉活動の推進

1) 地域での支え合い・助け合い活動の推進

◇地域のつながり強化支援—重層的支援体制整備事業への移行準備事業（町委託事業）—職員が積極的に地域に出向き、社会的孤立の解消への取り組みや、世代や分野を超えて皆で支え合える、住民主体の地域づくりを支援しました。

「アウトリーチ等継続的支援事業」

- ・相談支援件数…974件〔441件〕新規受付件数…5件〔0件〕終結件数…2件〔3件〕
- ・重層的支援会議（支援会議、事前ミーティングを含む）開催数…11件〔3件〕

「地域づくり事業」

- ・活動者・地域への支援…305件〔449件〕
- ・職員参加会議件数…12件〔14件〕
- ・地域包括支援センターと協働し、ボランティア団体活動の推進・協議体の立ち上げ支援を行いました。（令和5年度協議体設立数：3団体）

- ・ひとり親家庭等への生活支援を実施

お米等の配付を通じ、実際の生活を支援したほか、企業や住民の方々からお寄せいただいた日用品や食料品を無償で提供する「おたがいさまコーナー」の充実を図り、より一層の生活支援に取り組みました。また、「提供」するだけでなく、気になる人や複合的な福祉課題の早期発見を目的に SNS 等を活用し、様々な情報発信を行い、顔の見える関係性を構築しました。

また、「おたがいさまコーナー」の整備については、提供品整理ボランティアとして、アウトリーチ事業対象者と協力し、参加支援の場として繋げました。

◇災害ボランティアセンターに関すること

- ・奈良県社会福祉協議会主催「災害時の市町村相互に関する検討会」に出席…9/22
- ・奈良県社会福祉協議会主催「令和6年度能登半島地震県内社協災害支援対策会議」に出席（全3回）…1/12、1/22、2/7
- ・都道府県域本部のあり方勉強会実行委員会主催「R6年能登半島地震 第1回被災地社協・支援者からの現地状況報告会」に出席…1/27

2)福祉教育の充実

◇福祉教育推進連絡会の運営（小・中学校の担当教員、社協で構成）…8/9、2/22

◇小・中学校等における福祉体験学習等の職員派遣及び関係団体との調整

（参加件数：5件〔7件〕下記のとおり福祉体験学習の実施に協力しました）

- ・南小学校4年生 9/8 車椅子・アイマスク体験
- ・北中学校1年生 11/15 認知症サポーター養成講座
（町内福祉施設職員の協力）
- ・田原本中学生1年生 12/14 車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験・要約筆記・
手話体験・認知症サポーター養成講座
（町内福祉施設職員、ボランティアの協力）
- ・田原本小学校4年生 1/25 車椅子・アイマスク体験・手話体験
- ・北小学校4年生 2/14 車椅子・アイマスク体験

◇町内各小・中学校、磯城野高等学校、高等養護学校への福祉教育及び学校ボランティア活動へ助成金を交付しました。

3) 幼児の健全育成と子育て支援

◇ 幼児教室（町委託事業）

すいせんの会（民生児童委員、主任児童委員から組織）の協力により、就園前の幼児と、その保護者を対象に集団遊びや季節の行事を開催しました。

・開催数…全6回〔10回〕、参加者数…20組〔20組〕

◇ ファミリー・サポート・センター事業（町委託事業）

子育ての援助をして欲しい人（依頼会員）と、援助したい人（援助会員）が会員として登録し、有償で行う住民相互の援助活動の調整と活動支援を行いました。

- ・依頼会員…72名〔44名〕
- ・援助会員…47名〔39名〕
- ・調整件数…35件〔22件〕
- ・活動件数…537件〔131件〕
- ・援助会員養成講座の開催…11/8、11/16、11/22、11/29
- ・援助会員交流会の開催…7/15 延参加者…26名〔32名〕
- ・援助会員専用公式LINEを活用し、より効率的な運用を図りました。

4) 高齢者の見守りと地域づくり

◇ 福祉給食・見守り事業

一人暮らし高齢者等へ、見守りを兼ねた昼食の調理・配食をボランティア（ふれあいの会、なでしこの会、男性民生児童委員有志）の協力により実施しました。

・実施回数…48回〔48回〕- ・対象者数…37名〔47名〕（内、新規…13名〔5名〕）

◇ 友愛訪問活動の推進（町老人クラブ連合会との連携）

老人クラブ女性部による会員相互の見守り訪問活動に協力しました。

- ・対象者数…129名〔139名〕
- ・一人暮らし老人慰安会…10/29
- ・女性部手芸教室…8/2

5) ボランティア活動支援

◇ ボランティアセンター運営

新規活動相談受付件数…4件

◇ ボランティア活動保険加入

- ・一般ボランティア活動…597名〔620名〕
- ・行事ボランティア活動…25件〔16件〕
- ・送迎ボランティア活動…2件〔2件〕
- ・福祉サービス総合補償…1件〔0件〕
- ・事故報告件数…0件〔1件〕

◇下記団体への活動助成 6団体〔6団体〕

- ・OHP 田原本
- ・田原本町手話サークルしきの会
- ・ボランティアグループぶりっじ
- ・たすけあいの会「コスモス」
- ・たわらもと傾聴
- ・田原本おはなし会

◇レクリエーション物品貸出事業（ふれあいセンターとの連携）

住民主体による集いの場等で使用できる機器やゲーム物品等を貸出しました。

- ・社協受付件数…17件（マイクセット、プロジェクター等）〔8件〕
- ・ふれあいセンター受付件数…6件（わなげ、スカットボール等）〔10件〕

6)福祉を身近に感じる機会づくり

◇住民参加型事業（田原本町共同募金委員会との連携事業）

～ファミリーイベント～感謝の気持ちを伝える場として、映画上映会を開催しました。幅広い世代に楽しんでもいただける映画上映を通じて、赤い羽根共同募金クイズの実施、赤い羽根をあしらったオリジナルハンドタオルの配布を行い、共同募金の啓発に努めました。…12/16

7)福祉関係団体活動支援

◇田原本町共同募金委員会

地域福祉活動を積極的かつ計画的に展開するための財源を安定化し有効活用するための会議を開催しました。

- ・運営委員会…5/30、6/20、3/19
- ・審査委員会…2/29

◇下記福祉団体の運営事務及び、研修会の企画・開催等を通じた地域福祉関係者間との連携を推進しました。

- ・町民生児童委員協議会
- ・町老人クラブ連合会
- ・町ボランティア連絡協議会
- ・町身体障害者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町遺族会
- ・「英霊にこたえる会」田原本町支部
- ・磯城郡遺族会

◇下記団体への活動助成金を交付しました。

- ・町身体障害者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町老人クラブ連合会
- ・どんぐりの会
- ・のぞみ会田原本町支部
- ・町ボランティア連絡協議会
- ・町遺族会

8)磯城郡社会福祉協議会の運営

◇磯城郡社会福祉協議会研修会「ヤングケアラーを知ろう～当事者視点で考える支援のあり方～」を開催しました。

◇郡域福祉団体へ活動助成金を交付しました。…7団体

(2)生活支援事業の推進

1)相談支援

◇心配ごと相談事業（原則第4木曜日に開催）

・開催数…12回〔12回〕　・相談者数…12名（内、面談者6名）〔8名〕

・相談種別

内訳）住宅関係…0件、生計・職業・生業問題…5件、福祉関係…1件、

家族関係…4件、離婚関係…1件、財産関係…4件、

人権・法律問題…1件、事故関係…1件、苦情関係…3件

その他（消費者金融関係等）…1件　計21件（重複問題含む）〔13件〕

・相談員研修会…3/11、相談件数及び内容の報告を通して相談員のスキルアップを図りました。

◇生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

・貸付決定数…15件〔74件※内、コロナ特例貸付65件〕

<内訳>

・緊急小口資金…5件〔2件〕

・教育支援資金…9件〔6件〕

・福祉費（葬祭費）…1件〔1件〕

◇緊急小口資金貸付事業（善意銀行への寄付金を原資として実施）

貸付件数…73件〔79件〕

◇日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会委託事業）

生活支援員等により福祉サービスの利用援助を行いました。

・支援対象者…6名〔6名〕

・訪問回数…82回〔88回〕　・訪問時間数…89時間〔96時間〕

2)食料・日用品等の支援

◇本会独自のフードレスキュー・見守り事業

窮迫した生活困窮者等へ安心・安定した相談支援活動を展開していくことを目的とした緊急的食料支援と食料品等の受け入れを行いました。

- ・利用件数…244件〔56件〕 食品等の受入（企業、住民）…368件〔46件〕

◇お米等の無料配付事業（町委託による困窮世帯等へのフードレスキュー・見守り事業）

ひとり親世帯や生活困窮世帯を対象に月5kgのお米の配付をするとともに、町指定ごみ袋中（1袋）、トイレトーパー、洗濯洗剤の日用品を配付しました。

- ・利用登録世帯…151世帯（3月末時点）

◇その他の物品支援

奈良県社会福祉協議会からの提供品を必要とされる方へ配付しました。

3)障がい者・児への社会参加と生活支援

◇障がい児レクリエーション事業（町委託事業）

療育手帳、身体障害者手帳、精神保健福祉手帳を所持する児童等とその家庭を対象とした交流会を開催しました。

- ・参加者数…92名〔116名〕（内訳、対象者：44名〔35名〕、付添者48名〔81名〕）
- ・開催日及び内容…12/9 ミシガンクルーズ及び琵琶湖博物館の見学。

◇ほのぼのサロン（原則第4水曜日開催）

主に精神障がい者を対象に、交流の場づくりと社会参加への機会提供を目的としたサロンを開催しました。（内容：スポーツ、レクリエーション、外出行事等）

- ・サロン…12回〔12回〕 延べ参加者数…73名〔61名〕

◇障害者等相談支援事業（町委託事業）

・障がい者特定相談支援事業

障がい者が安心して自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用に関する情報提供や相談などを行い、また、障害福祉サービス等を申請した方への計画作成や見直しを行いました。

- ・相談・情報提供…2,929件（来所、訪問、会議等）〔2,373件〕
- ・計画作成・見直し…68件〔73件〕

・障害者一般相談支援事業

施設や病院から退所・退院するにあたり住まいの確保等の支援が必要な障がい者への相談支援（地域移行支援）や、継続した地域生活が自身の力だけでは困難な障がい者に対し、見守りなどの連絡体制の確保など地域で密着したサポート（地域定着支援）の提供を行う事業です。

- ・相談・情報提供…1件〔1件〕

◇磯城郡地域自立支援協議会への参画

磯城郡における行政・障害福祉事業所・当事者団体等で構成される協議会へ参画しました。

- ・運営委員会、相談支援部会、イベント実行委員会へ出席しました。
- ・加入団体数：55団体〔58団体〕

4)福祉用具等貸出事業

◇福祉用具（電動ベッド、車椅子、送迎車両）貸出事業

町内在住者に対し、下記物品を貸出しました。

- ・車椅子貸出件数…97件〔35件〕 ・車椅子乗降対応型車両貸出件数…48件〔42件〕
- ・電動ベッド貸出件数…13件（内、4件新規）〔13件〕

◇3人乗り自転車貸出事業（町委託事業）

1歳以上小学校就学の始期に達するまでの子ども2人以上を養育する保護者に対し、3人乗り自転車を貸出しました。

- ・新規利用者/総利用者数…12名/27名〔9名/21名〕 ・所有台数…39台〔28台〕
- ・安全運転講習会の開催…4/25、10/5

(3)ふれあいセンターの管理運営

◇施設管理運営

- ・開館日数：248日〔247日〕
- ・利用者総数：34,813名〔31,238名〕
- ・児童館利用：8,610名（子ども：5,240名、大人：3,370名）〔6,008名〕
- ・浴場利用者数：24,021名〔23,287名〕、内介助浴利用：253名〔251名〕
- ・ボイラー不具合・浴槽汚染等により全浴場利用を緊急休止しました。
①12/8(全日) ②1/18(午前) ③1/24(1時間早く終了)
- ・交流目的等：2,182名〔1,943名〕

◇ふれあいセンター事業運営委員会

6/7 開催 令和4年度事業運営報告、令和5年度事業運営計画について

◇ふれあいセンター管理事業

- ・ふれあいプチフェスタ（8/27：230名、3/24：286名）

高齢者や親子等、来館者全員が楽しめるイベントとして、駄菓子、焼きそば等の販売、幅広い世代が楽しめるレクリエーション等を実施、多世代交流の機会を作りました。

- ・歳末感謝デイ（12/25：125名）

年内営業最終日に、来館者へ感謝を込めてお餅を配布しました。

- ・イベント風呂（ひのきの湯、さくらの湯）

楽しみ・健康促進を目的として、イベントに合わせて実施しました。

- ・各種相談事業の実施

健康・福祉相談：血圧測定や健康・福祉に関する相談を随時受け付けました。

児童館：子育て等の悩みを相談しやすい環境づくりのため、看護師も児童館業務・児童館事業に携わる機会を増やし、チェック室にも立ち寄りやすくなるよう、乳幼児の成長記録カードを作成、身体計測を通じて、看護師と話しやすい、相談しやすい仕組みづくりに取り組みました。相談を聞く中で必要と思われる情報については、関係機関と共有しました。

◇田原本町ふれあいセンター協力会による喫茶コーナーの運営

地元婦人会で構成されるふれあいセンター協力会協力のもと、喫茶コーナーを運営。和やかな雰囲気の中、たくさんの方のコミュニティースペースとして機能しました。

◇児童館事業

- ・ふれあいきつず

対 象：未就園親子

目 的：来館保護者からの「体をつかった」「家でできない」「集団遊び」ニーズに合わせたあそびの提供

実施回数：16回〔9回〕

参加者：234名〔157名〕

内 容：パラバルーン、ボールプール、水遊び、リトミック、公園遊び等

- ・おはなしひろば
対 象：未就園親子
目 的：ボランティアによる絵本の読み聞かせと交流の場
実施回数：9回
参 加 者：101名
内 容：絵本の読み聞かせとわらべ歌・手遊び等

- ・広間でてらこや
対 象：小学生
目 的：学習支援・交流
実施回数：36回
参 加 者：182名
内 容：学習支援と遊びの提供

- ・ふれあいカフェ
対 象：不登校の子ども・その保護者等
目 的：同じ悩みを持つ者同士の情報共有、ピアサポート・交流等
実施回数：9回
参 加 者：53名
内 容：ボランティアと協同し、子どもが児童館で遊んでいる間、飲み物やお菓子
を提供、ほっとできる空間と悩みの共有や交流する場を提供

- ・ふれあいママの食育らんち
対 象：未就園親子
目 的：気負わず簡単にできる食育の取り組みの紹介・食を通じた交流の場
実施回数：1回
参 加 者：6組 15名
内 容：食育講座（みそ玉づくり）と試食を兼ねたランチ会（おにぎり・和惣菜等）

- ・ふれあいプール
対 象：未就学児
目 的：水遊びできる場の提供
実施回数：3回
参 加 者：100名

・特別事業「きつずプロジェクト」

対 象：小学生

目 的：子どもの意見を述べられる場、企画・立案からの主体的な活動の機会

活動回数：9回（打ち合わせ等も含む）

活動児童：延べ38名

実施回数：2回（①わっふる屋さん、②子どもだがしや）

参加者：188名（①わっふる屋さん：62名、②子どもたがしや：126名）

◇高齢者・障がい者支援の推進事業

・ふれあいふらっと

対 象：来館者全員

目 的：ふらっと立ち寄って楽しみ、体験・活動・交流できる場の提供

実施回数：19回〔9回〕

参加者：269名〔157名〕

内 容：誰でも気軽にできるハンドクラフト、絵手紙、おでかけ、防災教室等

・ふらっと体操

対 象：来館者全員

目 的：体操・レクリエーションを通じた来館者の交流、健康維持・増進

実施回数：18回

参加者：125名

内 容：DVDを見ながらの体操、スカットボール等

・障がい福祉サービス事業所の物品販売への協力（毎週水曜日、午後1時から午後3時）

物品販売場所の提供を通じ、障がい者の社会参加の場づくりに寄与しました。

・介助浴室の活用

既存の介護・障害サービスだけでは充足できない入浴ニーズに対し、町内事業所等に介助浴室について周知し利用を促進し、地域福祉の推進に寄与しました。

◇来館者の方々の意見等を取り入れたセンター運営の実現に向けた取り組みについて

アンケート等を活用したニーズ調査の実施

児童館事業、高齢者・障がい者支援事業における各種事業について、その都度参加者にアンケートを実施し、ニーズを調査、事業内容に反映させました。

また、児童館に来館する子どもたちが主体的に活動できるよう、日常の関わりの中で、ニーズを拾うよう努めました。

◇情報の発信

紙媒体・SNS（主に Instagram）を活用したセンター周知と事業紹介

社協広報紙・情報紙「田原本ダイスキ！」を活用するほか、子育て世代に向け SNS を活用し、センター紹介および事業について周知を図り、来館動機となるよう努めました。

また、新たな試みとしてセンターのリーフレットを作成し、スーパー等に設置、新規来館者の獲得につなげました。

(4)事務局運営の充実強化

1)事務局運営

◇理事会及び評議員会（下記のとおり開催しました）

- ・理事会…5/30、6/20、3/19
- ・評議員会…6/26、3/28

◇善意銀行の運営（下記のとおりお寄せいただきました）

- ・一般寄附…515,917 円/41 件〔556,558 円/42 件〕
- ・物品寄附…車椅子 2 台、電動車いす 1 台

◇社協会員及び賛助会員制度の拡充（下記のとおり会員の確保に努めました）

- ・個人、団体会員…29 件/312,000 円〔29 件/315,000 円〕
- ・賛助会員…7 件/33,000 円〔3 件/11,000 円〕

2)広報・情報提供機能

◇広報「よるこび」発刊事業（発刊月：7 月、10 月、2 月）

年 3 回発刊し、全戸配布及び赤い羽根共同募金協力企業等へ送付しました。

◇ホームページの運営

社協の各種事業、共同募金運動などについて随時更新しました。

◇公式 SNS の活用による周知活動とタイムリーな情報提供

公式 SNS（Instagram・LINE）により日常の活動の発信や、催しの周知等を行い、SNS 利用者にも広く啓発活動を実施しました。

◇町広報紙、情報紙「田原本ダイスキ！」への本会に関する情報の掲載を行いました。

情報紙掲載月…4 月、8 月、12 月、2 月

3)各関係機関との連携・協働の充実

- ・日本赤十字社田原本町分区に関する活動資金募集事務を行いました。
- ・社会福祉士実習生の受け入れ…天理大学より2名

(5)専門職の派遣による福祉施策の充実

1)町役場への派遣

福祉関係有資格者の専門職を町行政へ派遣することにより、安定と地域に根差した福祉施策への展開及び活性化を図りました。

- ・長寿介護課（地域包括支援センター）への派遣者数…9名〔9名〕
- ・健康福祉課への派遣者数…1名〔1名〕